

# ビスホスホネート系薬剤とあごの骨の異常について



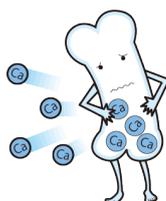
(1) ビスホスホネート系薬剤(以下BP剤)は、次の疾患の治療などに用いられます。

- ・骨粗しょう症
- ・悪性腫瘍による高カルシウム血症
- ・乳がんの溶骨性骨転移 など



## 発売中のBP剤一覧 H28.05 現在

一般名	商品名	剤形
エチドロン酸二ナトリウム	ダイドロネル錠	経口剤
パミドロン酸二ナトリウム	アレディア点滴静注用	注射剤
アレンドロン酸ナトリウム水和物	テイロック注射液	注射剤
	ボナロン錠・経ロゼリー	経口剤
	ボナロン点滴静注バッグ	注射剤
	フォサマック錠	経口剤
リセドロン酸ナトリウム水和物	アクトネル錠	経口剤
	ベネット錠	経口剤
ゾレドロン酸水和物	ゾメタ点滴静注	注射剤
ミノドロン酸水和物	ボノテオ錠	経口剤
	リカルボン錠	経口剤
イバンドロン酸ナトリウム水和物	ボンピバ静注	注射剤
	ボンピバ錠	経口剤



★ ジェネリック医薬品については、薬剤師にご相談ください。

これらのBP剤により、**顎骨壊死(がっこつえし)**・**顎骨骨髓炎(がっこつこつずいえん)**といった「あごの骨の異常」があらわれることがあるので、BP剤を使用中の人は、以下の点に十分に注意してください。

- ① ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください
- ② 定期的な歯科検査を受けてください
- ③ 歯科を受診する際には、BP剤を使用していることを歯科医師にお申し出ください
- ④ 抜歯などの治療は医師・歯科医師とよく相談してください



(2) BP剤以外にも、デノスマブという成分の注射剤(プラリア皮下注 ランマーク皮下注)の使用によっても、**顎骨壊死や顎骨骨髓炎**があらわれるという報告があるので、BP剤と同様の注意が必要です。

(3) 最近、BP剤を使用している人に、**外耳道(がいじどう)の骨の壊死(えし)**が発現したとの報告があります。これらの報告では、耳の感染や傷に関連してあらわれた人も認められることから、外耳炎(耳のかゆみ、耳の中の熱っぽさ、耳の違和感)、耳だれ、耳の痛みなどの症状が続く場合には、耳鼻咽喉科を受診してください。